

# 全ての新生児が受診できる 新生児聴覚検査の体制整備が必要

## 鳥取県母子保健対策協議会 母子保健対策専門委員会

日時	平成19年2月15日(木) 午後1時40分～午後3時30分
場所	鳥取県健康会館 鳥取市戎町
出席者	24人 井庭協議会長、神崎委員長 伊藤・稲田・植木・大城・大谷・大野・笠木・神鳥・小枝・ 西田・長谷川・深澤・廣田・前田・宮崎各委員 鳥取県健康対策協議会：岡本会長 鳥取県福祉保健部医務薬事課：前田副主幹 " 健康対策課：米原係長、藤岡主事 健対協事務局：谷口局長、岩垣主任、田中主事

### 報告事項

#### 1. 新生児聴覚検査実施体制整備事業について：

県健康対策課 米原係長

平成18年4月～9月までの新生児聴覚検査実施状況について報告があった。

県内14医療機関において実施し、医療機関出生児数2,434人に対し検査件数2,090人、実施率85.9%であった。検査の結果、再検査が20人で再検査率は0.96%であった。検査機器別の再検査率はAABR0.61%、OAEが1.79%であった。再検査者20人が1ヶ月健診時再検査をした結果、保留1人、要精密11人、要精検率0.53%であった。

精密検査は10件実施され、異常なし1人、聴覚障害疑い2人、両側難聴6人、一側難聴1人であった。両側難聴と判定するまでの期間は3、4ヶ月～半年程度と幅があるようで、この6名についてどのくらいの期間を要したのか調査して欲しいという要望があり、次回にて報告することとなった。この検査により、出生半年後には診断され早期治療・療育に繋がるので、大切な検査であると

のことだった。

圏域別実施状況では、中部での推計カバー率が49.1%、東西部は80～96%であった(里帰り分娩含)。

また、平成16年度から始まった新生児聴覚検査実施体制整備事業は今年度で終了となるが、支援検討会は継続する。平成18年度は、支援マニュアル「新生児聴覚検査と聴覚障害児支援のための手引き」を発行した他、鳥取県新生児聴覚支援検討会および従事者講習会を開催した。検討会で協議した結果を受けて、以下の通り周知等を行うこととした。

地域で保健師等が保護者に行っている支援内容が主治医に伝わっていない場合があるとの声があり、手引きで示されている「新生児聴覚検査育児支援連絡票」等を活用したり、主治医と連携を取ることを母子保健担当者研修会において保健師に対して周知を行った。

「新生児聴覚検査実績報告書」については、NICU入院児が記入できない様式となっていたために変更を行った。

精密検査未受診者への対応については、母子手帳への結果記載、産婦人科医療機関と精密医療機関との連携強化を図っていくこととした。

現在、新生児聴覚検査機種の有る医療機関で出産した場合は検査が受けられるが、その他の医療機関で出産を行った場合の体制整備がなされていないという意見があった。

以上の報告に対して、以下の意見があった。

- ・新生児聴覚検査はどの出生児も平等に受けて頂く必要があるので、今後、外来新生児聴覚検査の体制整備について支援検討会で検討する予定である。
- ・現在は新生児聴覚検査は個人負担であるが、公費負担の検討をお願いしたいとの要望があった。これについて、国の補助事業は今年度で終了するが、「少子化対策に関する地方単独措置」が拡充され、市町村において積極的な取組みが可能となる。
- ・新生児聴覚検査結果について、本県では母体の影響を考慮して産後1ヶ月（1ヶ月健診時）に保護者へ伝えることとしているが、退院時（1週間後）に伝えたケースや、新しく検査を実施した医療機関が手引きの内容を十分に理解していないケースがあった。きめ細かい周知を再度、保護者および医療機関へ行って欲しいとの意見があり、日母を通じて産婦人科医療機関に1ヵ月時での結果周知を徹底して頂くようお願いすることとした。

## 2. 「平成19年度版乳幼児健康診査マニュアル」

改訂について：県健康対策課 米原係長

鳥取県乳幼児健康診査マニュアルの一部改訂を行った。主な改訂内容は、

- ・「乳幼児健康診査指針と概要」の中に、「健康診査結果について」を追加。
- ・3歳児健康診査票アンケート項目の変更および問診項目の追加に伴う記載変更。
- ・3歳児健診検尿の取扱いの変更。
- ・健診票内容「耳鼻科問診項目について」および

乳幼児期の聴覚に関する内容の記載の変更。

- ・3歳児健診視力・聴力アンケートの変更に伴う記載（ささやき声）

などである。委員の先生方より修正等があれば、2月下旬まで連絡をお願いしたいとのことだった。

また、米子市において5歳児発達相談が19年度から導入されることとなった。保健師等が保育所を巡回相談し、気になる子の対応を検討し、その後必要のある子を診察（発達相談）する。また、小集団教室でフォローする予定である。

## 3. その他

### (1) 「医療・保健機関編 子どもSOS対応手引き」改訂について

平成14年度に健康対策課において作成したマニュアルについて、各法律の改正等から、定義・連絡体制の変更、歯科保健から見た虐待兆候の追加、学校医の役割などを追加し、この度「子どもSOS対応のマニュアル 医療・保健医療機関編」改訂版を作成し、5月には関係機関へ配布する予定である。

手引きは、健康対策課ホームページ（PDF形式）からダウンロードできるようにするので、活用をお願いしたいとのことだった。

また、乳幼児健康診査マニュアルも含め、研修医の勉強のために活用したいので配布部数を多くして欲しいとの意見があり、予算とのからみもあるが、増刷について検討して頂くこととした。

### (2) 妊婦健康診査の公費負担の望ましいあり方について

少子化対策の一環として、厚生労働省より各都道府県に、現在各市町村において実施されている妊婦健康診査費用の負担軽減が求められ、来年度、積極的に妊婦健診を実施して欲しいとの通達があった。現在、本県では前期と後期の2回であるが、今回の通知では5回程度の公費負担を実施することが望ましいとされている。内容も「子宮頸がん

検診、C型肝炎抗体検査、グルコース」などの検査も盛り込まれている。しかし、各市町村とも平成19年度の予算編成がほぼ終了しているので、ほとんどの市町村が平成20年度の変更に向けて来年度検討する予定である。

### (3) 鳥取県特定不妊治療費助成金交付事業について

助成金対象者について、夫婦の所得合計を650万円未満としていたが、平成19年度より730万円未満となり対象者を広げた。また、助成額についても1年度あたり20万円を限度として通算5年間であったのが、1回目の治療においては上限15万円、2回目の治療においては上限10万円を通算5年間助成することとした。

## 協議事項

### 1. 「鳥取県の母子保健に関するデータ集計・評価・分析(案)」について

本委員会で報告している母子保健指標および母子保健事業報告は、蓄積され利用可能なデータとなっていない。また、「とっとり子ども未来プラン(鳥取県次世代育成支援行動計画)を効率的に進めていくためには、各市町村が実施している母子保健事業(母親学級、健診、育児教室等)の量的・質的評価が必要である。これらに対応するために、各市町村に新たに求める情報(案)として、1歳6ヶ月、3歳児、5歳児健診の精密検査結果や市町村母子保健事業の項目等が示された。

協議の中で、以下の意見があった。

- ・健診データを市町村別などで集計・解析することは非常に重要。事後評価や精度管理が行えるほか、地域性や傾向なども発見できる。データを還元することは大切である。ただし、データ入力・管理などの作業が非常に大変である。
- ・新たな報告項目を設けるのは市町村の負担となりかねないので、現在活用している健診項目を生かす形で検討してはどうか。
- ・市町村により集計方法が異なるが(コンピュー

ターまたは手集計)、項目をはっきり示せばそれに合わせたデータを出すことは可能。是非とも項目を検討して、10年後でも活用できるようなものにして欲しい。

- ・乳幼児のデータとともに、妊産婦の健康状態(高血圧・妊婦死亡など)のデータ集計が出来ればお願いしたい、との意見があったが、国の統計では周産期死亡のデータあるが、各市町村での把握はなかなか難しい。

- ・個人情報保護法に関して、保護者へ何らかの周知を行う必要があるのではないかとの意見があり、包括同意で問題はないので、健診案内を行う際に一文を入れることで対応できると思われる。

よって、現在各市町村がどのようなデータ集計をしているのか調査を行い、その結果、できるだけ各市町村の負担とならないよう内容・項目を検討していくこととした。

### 2. その他

- ・5歳児健診を実施する市町村が今後増えてくると思われるので、検診医の確保について関係の先生方にご協力をお願いしたい。
- ・先天性代謝異常等検査において、現在は大きなトラブルはないが、未熟児の1回目採血の時期と再採血の時期が早くなったため、未熟児の影響が大きい先天性副腎過形成症(17-OHP)の要精密率が高くなっている。(カットオフ値が成熟児対象のため。)
- ・TSHの異常率が落ちてきている。測定法は変わっていないが、単に対象が無いのか技術的なことなのか、原因は不明である。
- ・先天性代謝異常等検査の精密医療機関となる病院のフォローアップを県として評価して欲しい。見逃し例があった場合、どのような結果であったのか把握しておく必要があるのではないかと。また、スクリーニングにおいてFT4の導入を必要であれば検討したい。